

感染制御部

1. スタッフ

部長（兼）教授 朝野 和典

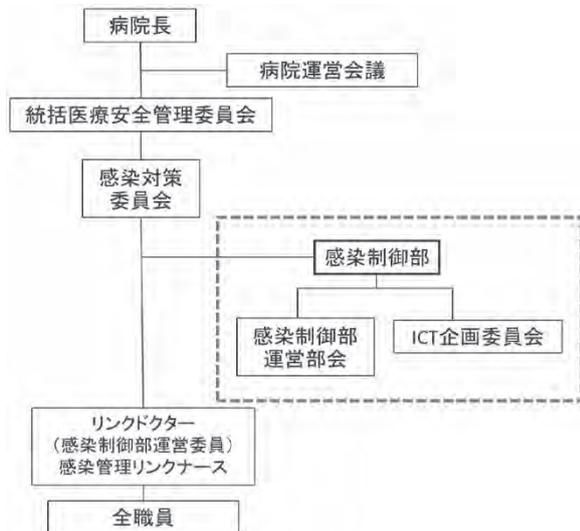
その他、病院教授 1 名、講師 1 名、助教 5 名、医員 2 名、薬剤主任 1 名、薬剤師 2 名、副看護部長 1 名、看護師長 1 名、副看護師長 1 名、副臨床検査技師長 1 名、主任臨床検査技師 1 名、臨床検査技師 1 名、臨床工学部門技師長 1 名、事務補佐員 1 名

（兼任を含む。また、助教は特任を含む。）

2. 活動内容

(1) 組織運営

当部は院内における職種や部署横断的な活動を行っており、院内感染アウトブレイク発生時などの緊急な対応が必要な場合には、診療への介入などの権限が必要であるために、病院長の直接の指示で活動できるように組織運営されている（組織図参照）。一方、日常の感染対策活動の方針決定に関しては、院内各部署の感染対策に関連するさまざまな職種の職員の意見と合意を得るために、毎月 ICT 企画委員会を招集して運営計画を策定している。ICT 企画委員会でまとめられた運営計画は、月 1 回開催される感染対策委員会における承認を経て実施される。このように、当部の活動は、迅速性と組織横断的な権限を有する一方で、院内各部署の合意や助言によって運営されている。



〈組織図〉

1) ICT 企画委員会メンバーの構成

医師 13 名、看護師 5 名、臨床検査技師 3 名、薬剤師 2 名、臨床工学技師 1 名、管理栄養士 1 名、事務職員 4 名、特任研究員 1 名、微生物学研究者 1 名

2) 感染対策委員会 (ICC) メンバーの構成

病院長、感染制御部長、感染制御部副部長、感染症対策に関し相当の経験を有する医師等若干名、臨床検査部長又は副部長、薬剤部長又は副部長、看護部長、事務部長、その他病院長が必要と認めた者

(2) 院内活動

病院における感染対策には、予防と診断治療があり、予防を感染制御、診断治療を感染症診療と定義し、それぞれの職員が役割の分担と協力を行って、病院全体の感染対策を共通の方向性をもって推進している。

感染制御は、院内各部署における院内感染の改善に取り組み、耐性菌分離状況のサーベイランスを行い、耐性菌アウトブレイクの発生予防を推進している。

また、院内感染対策の重点部署においては病院関連感染サーベイランスを継続し、アウトブレイク予防のための早期発見、介入を行っている。

教育、啓発活動として、全職員対象の研修会をはじめ、新規採用職員、職種や部署別の研修会に加え、外注職員、院内学級職員、ボランティア等、院内で働く全ての人に対する研修会を行っている。

感染症診療は、感染症コンサルテーションを通じて、感染症診断・治療の質の向上、抗菌薬の適正使用、研修医の教育を行っている。

その他、職員の健康管理として、流行性ウイルス感染症（麻疹、風疹、流行性耳下腺炎、水痘）、インフルエンザ、B 型肝炎ワクチンの接種を推進している。また、針刺し等の体液曝露の発生動向調査と防止対策の実施も行っている。

大阪大学全体の感染対策にも参画し、本学安全衛生管理部の担当する流行性ウイルス感染症対策委員会の一員として、本学全体の感染対策にも寄与している。

(3) 地域活動

一昨年度実施した北摂地域における入院患者の CRE 保菌調査の結果から、既報を上回る保菌率（12%）であることが判明した。療養病床を多く持つ病院からの検出率が高かったため、感染予防策、検査体制の不十分な介護現場での CRE の蔓延を懸念し、高齢者施設の感染対策の支援活動を保健所と吹田地区の加算 I 取得病院と連携して実施している。

(4) 行政との連携

部長は、大阪府新型コロナウイルス専門家会議座長、及び国の新型インフルエンザ等有識者会議の一員として、国及び大阪府の新型コロナウイルス対策に関する意見を提供している。本院は、COVID-19 における帰国者・接触者外来の役割を担っており、感染制御部が運営に関わっている。

3. 活動体制

当部の専従職員には医師、薬剤師、看護師、臨床検査技師がおり、各病棟、各診療科はもちろんのこと薬剤部、臨床検査部、事務部、栄養マネジメント部、臨床工学部、中央クオリティマネジメント部、手術部、材料部など様々な部門、部署と連携しながら、病院全体の感染対策を推進している。

地域医療としては、地域の感染対策を行っている医療機関と連携し、医師、看護師などの職種ごとに研修や情報交換を行っている。平成 22 年度からは、大阪府吹田保健所管内院内感染対策連絡会議の中心メンバーとして、会議の立ち上げ、運営に参画している。平成 24 年度からは診療報酬の改定を受け、地域連携の強化として年 2 回の合同カンファレンスを開催し、吹田市内の 5 病院で相互訪問を実施し、高齢者施設の感染対策の支援活動を実施している。また、大阪脳神経外科病院と連携し、感染対策加算を取得している。

4. 活動実績

(1) 院内感染対策実施事項

- 1) 感染対策委員会 毎月開催
- 2) ICT 企画委員会 11 回（月 1 回：8 月を除く）開催
- 3) 院内感染対策教育
 - i) 院内感染対策講習会 2 回開催
第 1 回：「薬剤耐性菌と抗菌薬について」「先ずは手指衛生からはじめよう！」
第 2 回「手指衛生のエビデンスと抗菌薬の暗黒面」
 - ii) 部署別・対象別研修
 - a. 研修医イントロコース
 - ・抗菌薬の適正使用
 - ・院内感染対策
 - b. 看護部段階別研修
 - ・感染予防技術
 - c. 看護部 感染管理リンクナース会 担当
 - d. 各部署での研修会（研修医、手術部、臨床工学部、ICU 病棟、消化器外科病棟、看護部、医事課）
 - e. 業務委託業者（清掃、受付、メッセージャー、洗浄員など）
- 4) 新規採用職員と全職員に対する麻疹、風疹、ムンプス、水痘のワクチン接種歴調査結果と抗体検査結果を用いてワクチン接種の必要な職員へのワクチン接種を実施

【各ウイルスワクチン接種対象者数】

	麻疹	風疹	ムンプス	水痘
接種なし	2,401	2,413	2,469	2,552
1回接種必要	298	273	149	125
2回接種必要	19	25	73	13
抗体価測定必要	355	362	382	383
計	3,073	3,073	3,073	3,073

【令和元年度ワクチン接種率】

	麻疹	風疹	ムンプス	水痘
接種者数	182	192	156	81
接種率	57.4%	64.4%	70.3%	58.7%

【B型肝炎抗体検査結果】

一般職員		新規採用職員		中途採用職員	
陰性	78	陰性	75	未検査	13
保留	37	保留	22	陰性	24
弱陽性	96	弱陽性	34	保留	2
陽性	2019	陽性	338	弱陽性	6
計	2230	計	469	陽性	58
				計	103

【B型肝炎ワクチン接種率】

一般職員		新規採用職員		中途採用職員	
接種対象者数	211	接種対象者数	131	接種対象者数	32
接種者数	128	接種者数	107	接種者数	23
接種率	60.7%	接種率	81.7%	接種率	71.9%

全体接種率

71.4%

- 5) 職員及び希望者へのインフルエンザワクチン接種
職員 3,530 名へワクチン接種を実施
*職員（ボランティア、院内学級教師などを含む）
外注業者（清掃、受付、メッセージャーなど）
※リンクドクター看護部の協力を得て当部で一括して実施
- 6) ICT Monthly 定期 12 回（月 1 回発行）
号外 6 回
- 7) 院内イントラネットのホームページを充実
一部学外にオープン
- 8) アウトブレイク防止の対応
 - i) 水痘対応 1 件二次発症なし
 - ii) 小児医療センターノロウイルス対応
- 9) ラウンド：週 1 回の環境ラウンドと随時の感染症ラウンドを行い、対策の改善点を提言している。
- 10) サーベイランス
 - i) 耐性菌サーベイランス
MRSA の分離状況を、毎月病棟別にサーベイランスシートにまとめ配布している。
 - ii) VAE サーベイランスの実施
平成 29 年度より開始（ICU）
 - iii) UTI サーベイランス実施
平成 18 年 5 月から開始継続（高度救命救急センター）
 - iv) SSI サーベイランス実施
平成 26 年 8 月より、消化器外科と共同で実施
 - v) BSI サーベイランス実施
平成 30 年 4 月より西 10 階病棟、10 月より東 10 階病棟で実施
- 11) 感染症コンサルテーション
コンサルテーション延数 597 症例
- 12) 薬剤部と連携し、抗菌薬適正使用のためのデータ収集と、広域抗菌薬や抗 MRSA 抗菌薬の使用症例への介入を行っている。
- 13) COVID-19 感染対策
 - ① 対策本部会議の開催 9 回、新型コロナウイルス対策 WG15 回開催
 - ② PCR 検査
患者 65 件、職員 6 件（うち学外 2 件）、地域医療機関 36 件実施、陽性率 5.48%
- (2) 院外における感染対策支援活動
 - 1) 院内感染対策改善支援
吹田市内 2 施設
大阪府内 2 施設
 - 2) 吹田保健所管内高齢者施設感染対策支援
施設訪問支援 7 件
感染対策リーダー育成支援研修会開催 3 回